

B312		日本音楽史	
英名科目名	History of Japanese Traditional Music		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL:075-334-2222 FAX:075-334-2345		
担当教員	武内 恵美子(日本伝統音楽研究センター 准教授)		
開講期間	2021年09月22日(水)～2022年01月12日(水) 4講時 14時40分～16時10分(毎週水曜日) 年内は12月15日まで 新年は01月08日から		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	水曜日 4講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50		
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	受講態度40%(授業内コメント)、試験60%で評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	入学金:28,200円 授業料:科 28,800円 聴 28,800円		
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 中世～近代の日本音楽史について理解する。			
【授業概要】 中世から近代にかけての日本の伝統芸能が、それぞれどのようなものであったのか、それらが相互にどのように関連して存在していたのか等、日本音楽史を理解することを目指す。			
【履修上の注意】 授業期間中に日本伝統音楽研究センターで実施される、授業に関連する企画(伝音セミナー・公開講座等)への出席を求める場合がある。			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンス 授業の注意点、日本音楽を学ぶことの意味等について説明する。			
第2回 中世1 能 中世を代表する能の歴史等について学習する。			
第3回 中世2 能 能の音楽構造や舞台について学習する。			
第4回 中世3 狂言 能と兄弟のような関係である狂言の歴史等について学習する。			
第5回 中世4 田楽、平曲 能と人気を競った田楽、音楽的影響が大きい平曲について学習する。			
第6回 中世4 風流・ややこ踊り、オラシヨ 中世に大流行した風流(ふりゅう)の概要、そこから発展し歌舞伎の基となったややこ踊りについて、また洋楽流入とオラシヨについて学習する。			
第7回 近世1 歌舞伎 近世を代表する歌舞伎の歴史等について学習する。			
第8回 近世2 歌舞伎 歌舞伎の演目や演出の約束事、劇場等について学習する。			
第9回 近世3 文楽 歌舞伎と成り代わって近世の代表的芸能である文楽について学習する。			

第10回 近世4 三味線音楽 浄瑠璃 近世に発展した三味線音楽の分類や浄瑠璃に分類されるジャンルについて学習する。	
第11回 近世5 三味線音楽 歌もの 三味線音楽の分類上、浄瑠璃と対の概念である歌ものについて、特に代表的音楽である長唄を中心に学習する。	
第12回 近世6 地歌箏曲・三曲合奏、尺八 当道によって伝承された地歌・箏曲とその合奏形態である三曲及び尺八について学習する。	
第13回 近代1 浪花節、唱歌、童謡 近代に怒った洋楽流入とその結果の日本音楽の方向性等について学習する。	
第14回 近代2 宝塚歌劇団、浅草オペラ 近代音楽の特徴であるオペラ、オペレッタ、ミュージカルなどについて学習する。	
第15回 予備・試験 伝音行事参加の予備日および試験実施。	
教科書	なし
参考書	授業毎に配布する。